

# 「世界の分断と対立 加速化



G7にNGO指摘

C7は21日、広島市内で

と主張しました。

G7首脳会議の評価について  
て緊急記者会見を行って、ア  
ジア太平洋資料センターの  
内田聖子共同代表は「最  
低」評価をつきました。  
「G7は必要なのか」と指  
摘し、「G7は経済的、政  
治的に影響力を失ってお  
り、貧困、金融、債務など  
自分たちがつべつてきた課  
題を解決できなくなってしま  
る。G7は解消すべきだ」  
あだ、経済安全保障に  
いて「中止に対する力」を  
ブリンク（分断）政策だ  
と指摘。「新興・途上  
のグローバル・サウス」  
を取り込み、別の経済圏を確  
めるもので、世界の分断とは  
立がサミットを機に進む  
ことを懸念してくる」と警戒  
を鳴らしました。

日本アフリカ協議会の葉  
雅紅共同代表はG7が

大切な医療体制の確保に失敗してしまった。「G7の限界が示された」と讃美。コロナパンデミック（世界的大流行）の際に浮き彫りとなつたワクチン、検査、治療薬のアクセスでの先進国と新興・途上国の格差是正が求められています。しかし共同声明は「期待に応えられなかった」。

核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）の川崎哲会長は「大変失望している」と表明。「核軍縮に関するG7が、G7に市民の声を突きつけました。

回りには、被爆者、人権問題、女性と性的少數者の問題、人権問題など市民団体の会

し共同声明は「期待に応え  
られなかつた」。 同日には、被爆者、人管  
核兵器禁止国際キャンペーン  
（ICAN）の川崎哲  
会長は「大変失望している」  
と表明。「核軍縮に関するG  
7首脳広島ビジョン」（19  
7年）には、被爆者、人管  
問題、女性と性的少數者の  
人権問題など市民団体の会  
見や行動が相次いで行わ  
れ、G7に市民の声を突き  
つけました。

田)どうして「自分たちの核兵器は『防衛目的』『抑止力』として正当化した。広島、被爆者を踏みにじった」と憲葉をじがいせました。

この他、気候・環境正義、人道支援、「しなやかで開かれた社会」の各観点でも失望や批判が相次いで語られました。

# 市民社会存在問う声

